

(5) 地域の由来等調査

本市では、長い歴史の中で育まれた遺跡、寺社、建造物などの文化財は地域の財産であると捉え、地域に関する文化財をゾーニングの情報へ追加を行った。保有する文化財については、本市の歴史文化や文化財の保全と活用に関する総合的な計画である「京丹後市文化財保存活用地域計画」（令和4年度策定）に基づき、重要文化財、有形文化財、民俗文化財、記念物等の整理を行い、ゾーニングマップへの反映を行った（図1.9参照）。

また、「1.4.2 (6) 2) 区長意向調査」において、「区内で地域の文化や由来など保存が必要だと思うもの」について意見を伺い、「区の由来に関係するため」、「お参りをする区民がいるため」など、上げられた地点を地域特有の文化財等として、ゾーニングマップへの反映を行った。

なお、ゾーニングマップは基本的にエリアで示すものであるが、文化財等は無形文化財や、個人の所有物等のエリア指定が困難なものも含まれるほか、遺跡等のエリアが定まっているものについても、正確な位置情報をもったポリゴンデータは整備されていないものも存在する。よって、文化財等については、代表地点を地図上に落としたポイントデータとしてゾーニングマップの閲覧システムに搭載し、調整エリアとして取り扱うこととした。

表 1.7 地域の由来等調査で抽出された文化財等

区分		合計
区長アンケート		21
重要文化財	建造物	2
有形文化財	建造物	27
民族文化財	有形民俗文化財	1
	無形民俗文化財	17
記念物	遺跡（史跡）	27
	名勝地（名勝）	5
	天然記念物	8
文化的景観		2
文化財環境保全地区		3
区長アンケート	五十河民家苑（旧小林住宅主屋、旧松岡家住宅主屋、旧湯浅家住宅主屋） 松田古墳群、旭長者屋敷跡、常魂碑、 比沼麻奈為神社、多久神社～相光寺、 涌田山古墳群、住吉神社、コウノトリの巣、 庚申塚碑、深谷神社、日吉神社、大慶寺、琴引浜、 持田神社、高岡神社、愛宕神社、 八幡神社、茶臼山古墳	21
		113

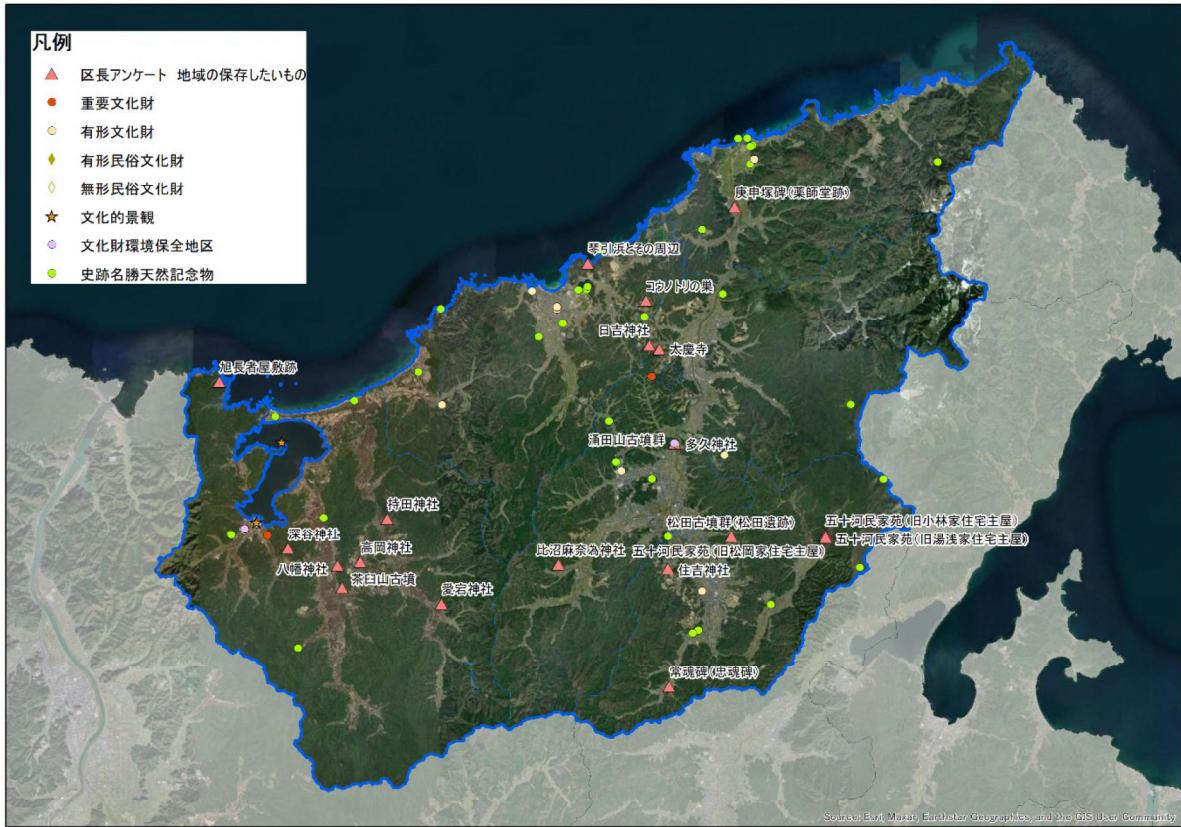


図 1.9 地域の由来等調査結果

(6) 促進区域となる対象エリアの抽出

1) 事業者意向調査

① アンケート調査

京丹後市内の事業者及び京丹後市内に太陽光発電施設を設置している FIT 認定事業者を対象としたアンケート調査を実施し、事業用地や発電事業の意向等を伺い、ゾーニングマップの基礎資料とした。

表 1.8 事業者アンケート調査の概要

項目	内容
調査期間	令和5年6月8日（木）から令和5年6月23日（金）
調査対象	市内事業者および市内に太陽光発電設備を設置している事業者
調査方法	返信用封筒を同封した質問表送付によるアンケート調査
配布数	1,015
回答率	25.4%（回答数：258）
I. 事業者の概要	I-1 業種
	I-2 所在地
	I-3 連絡先（任意）
II. 地球温暖化対策について	II-1 地球温暖化防止の取組
	II-2 地球温暖化対策防止のために実施する企業活動
III. 太陽光発電について	III-1 太陽光発電事業の計画について
	III-2 再生可能エネルギーで活用したい事業用地の有無
	III-3 再生可能エネルギー事業で関心のある事業実施手法
	III-4 PPA 事業への参画についての意見
IV. 自由記述	IV 市の再生可能エネルギーゾーニングについての意見

② ヒアリング調査

アンケートの回答内容を踏まえて事業者を抽出し、太陽光発電事業の取組や、事業用地の詳細等を伺うために、電話によるヒアリング調査を実施した。ヒアリングの対象者は、アンケートで回答のあった事業用地とゾーニングマップを机上整理した上で、太陽光発電事業の参画意向を参考に、16名を抽出した。

2) 区長意向調査

① アンケート調査

京丹後市内の 238 区の区長を対象にアンケート調査を実施し、耕作放棄地や遊休地、また地域の文化財等保存が必要であるものについて伺い、ゾーニングマップの基礎資料とした。

表 1.9 区長アンケート調査の概要

項目	内容
調査期間	令和 5 年 6 月 1 日（木）から令和 5 年 6 月 23 日（金）
調査対象	令和 5 年度区長
調査方法	返信用封筒を同封した質問表送付によるアンケート調査
配布数	238
回答率	51.3%（回答数：122）
I. 回答者について	I-1 区長を務めている区について I-2 連絡先
II. 再生可能エネルギー ゾーニングについて	II-1 区内の耕作放棄地や遊休地の場所 II-2 区内で地域の文化や由来など保存が必要だと思うもの
III. 自由記述	III 市の再生可能エネルギー ゾーニングについての意見



図 1.10 区長アンケートの回答状況

② ヒアリング調査

アンケートの回答内容を踏まえて区長を抽出し、区内の耕作放棄地や遊休地の詳細を伺うために、電話によるヒアリング調査を実施した。ヒアリングの対象者は、アンケートで回答のあった区域とゾーニングマップを机上整理した上で、11 名を抽出した。

3) 公共用地の抽出

本市が脱炭素化に向けて取り組む中で、促進区域の候補として、本市が有する公共施設から、対象候補施設の検討に向けた事業性評価を行う対象施設の位置情報、面積等について、データを収集し、GIS データとして整理を行った（図 1.11 参照）。

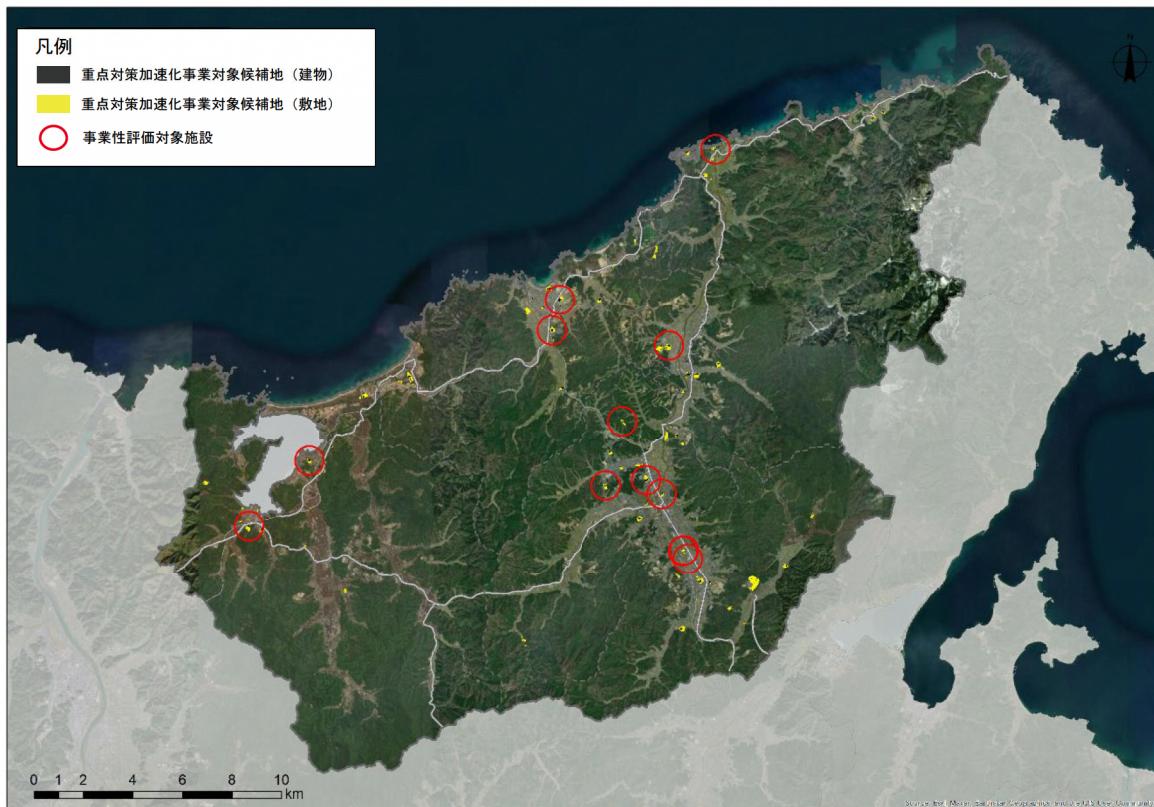


図 1.11 抽出した公共用地